

写真で学ぶ、人とペットの3つの避難

1. 同行避難



飼い主とペットの避難行動

2. 避難所への避難



避難所での人とペットの居場所づくり

3. 避難所以外への避難



避難所以外の避難先を予め考える

1. 同行避難



災害時に適切に同行避難を行うためには、

日頃からの飼い主とペットの「自分で出来る備え

(自助)」が大切です。

ケージの しつけ

日頃からケージやクレートに慣れていれば、飼い主と同行避難しやすくなり、避難所などでもペットが安心して過ごせる居場所を確保しやすくなります。



社会化

日頃からさまざまな人や場所に慣れておくと、飼い主との同行避難がよりスムーズになり、避難所などでも周囲の人に受け入れられやすくなります。



迷子札・
マイクロチップ

平常時から迷子札やマイクロチップを備えておくことは重要です。災害で自宅を離れて同行避難する際や、不慣れな避難所生活における迷子防止にも欠かせません。



トイレの しつけ

トイレのしつけは、平常時だけでなく災害時にも欠かせません。
苦手なペットには「マナーパンツ」を活用するのも有効です。



2. 避難所への避難



避難所では、状況に応じて、**飼い主とペットが同じ場所で過ごす場合**もあれば、**避難所内の別の場所で生活する場合**もあります。

災害時、避難所には様々な事情を抱えた被災者が身を寄せます。大切なのは、**ペット飼育の有無や、年齢・障がいなど、それぞれの事情に配慮した「みんなが助かる避難所」**をつくること（**共助・公助**）です。

避難所施設内 同居

【熊本地震】避難所管理者と避難者（ペットを飼っている人・飼っていない人）が協力し、「施設内で、飼い主とペットが同じスペースで生活できる環境」が、約1か月間設けられました。



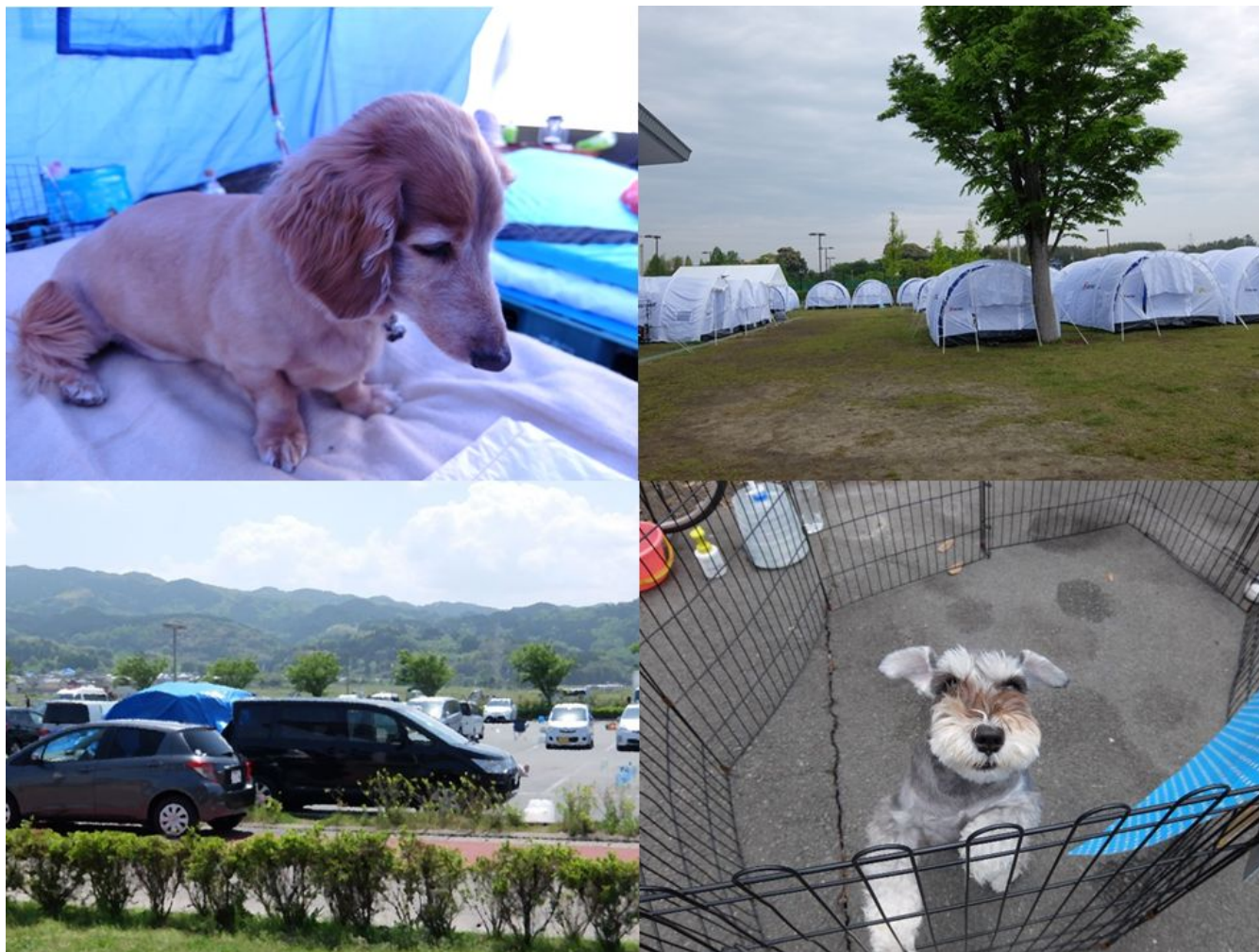
避難所施設内 別居

【能登半島地震】飼い主とペットが同居できるスペースが設けられましたが、他の避難者やペットを思いやり「愛犬を別室で飼育」する飼い主がいらっしゃいました。



避難所敷地内 同居

【熊本地震】NPOが設置したペット同居可のテントや、自家用車を活用して、避難所敷地内で、テントや自家用車を活用し、ペットと一緒に避難生活をされた飼い主がいらっしゃいました。



避難所敷地内
別居

【令和2年7月豪雨】 飼い主と避難所管理者、保健所や愛護団体などの支援者が協力して、「屋外（非常階段下）にペット飼育スペース」が設けられました。



3. 避難所以外への避難



ペット飼育の有無に関わらず、**避難所以外の避難先を備え、適切に逃げることも**重要です。

避難所への避難にこだわることで、より危険な状況になってしまうことがあります。**信頼できる身近な人との「互助（助け合い）」で、セカンドベスト（次善の策）の避難先**を持っておくことが大切です。

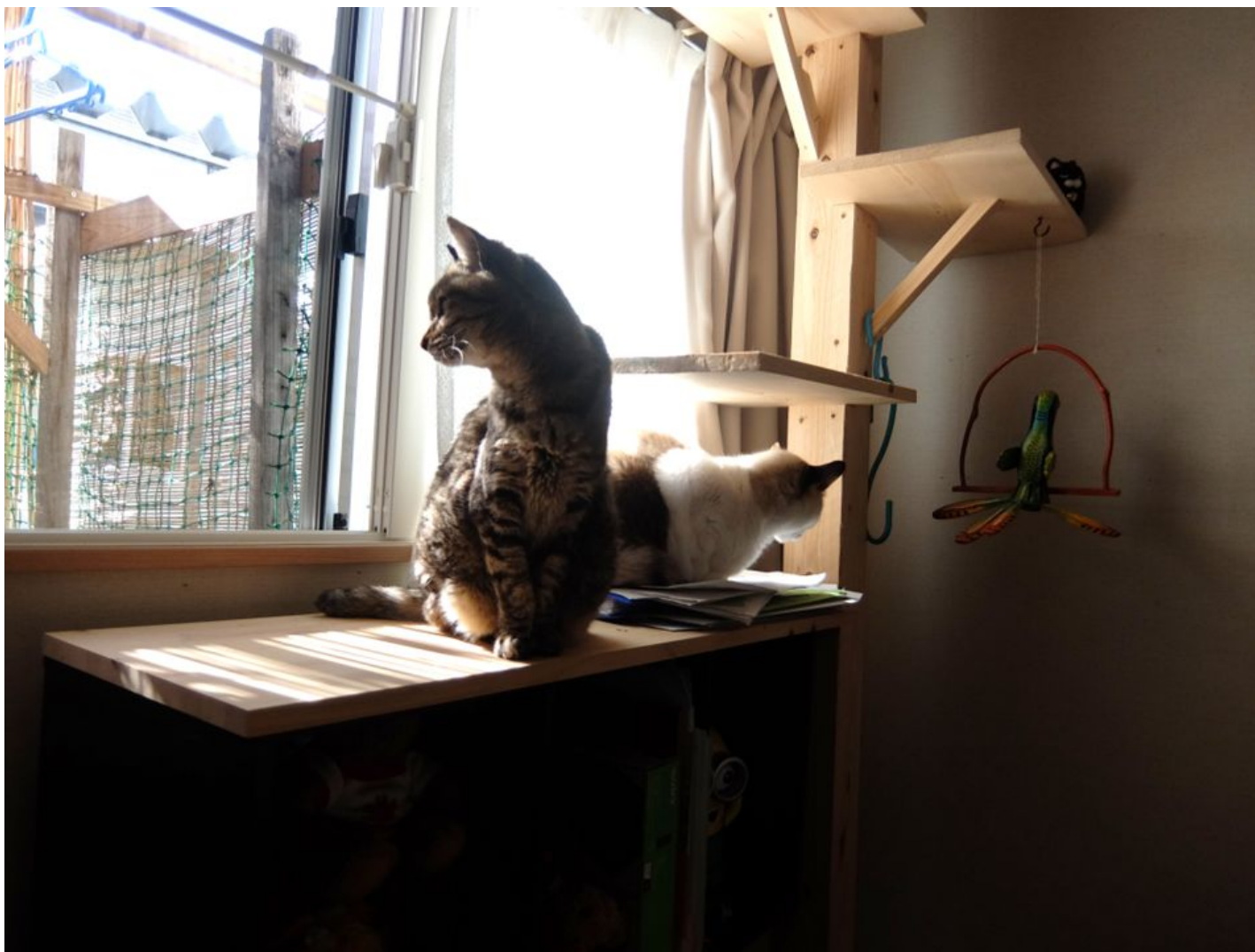
ペットの
一時預かり

【熊本地震】避難所で他家のペットトラブルを見て、自宅跡で犬を飼育することになりました。その後、息子さんが他県の愛護団体に連絡を取り、「ペットの一時預かり」を利用されました。



車中泊避難

【熊本地震】猫が外飼いだっただため避難所に連れて行けず、自宅跡で飼育していたけれど、猫のことが心配で、仮設住宅入居まで、猫と一緒に50日間の「車中泊避難」をされました。



親族宅への
避難

【熊本地震】猫3頭と同行避難したけれど、避難所がいっぱいで入れなかったため、隣町の姉を頼り、仮設住宅入居まで猫と一緒に避難されました。



知人宅への 避難

【令和2年7月豪雨】 ペットが高齢で避難所に居られず途方に暮れていたところ、自宅近くのなじみの飲食店に声をかけてもらったので、その店の2階で20日間避難生活をされました。



人とペットの災害対策ガイドライン のご紹介

環境省では、人とペットの災害対策ガイドラインを策定しており、「同行避難」の推奨をはじめ、平常時の備えや避難所での対応、関係機関との連携について整理されています。用語解説も含まれており、内容の理解を支援しています。

人とペットの災害対策ガイドライン

用語解説 1

● ペット

家庭動物等のうち、犬や猫などの小型の哺乳類と鳥類などを指します。ただし、特定動物や特定外来生物に指定された動物、これらに類する動物は含みません。

● 適正飼養

災害時の適正飼養では、他人に迷惑がかからない状況の確保を常に考えながら、ペット自体の健康と安全が確保できるように努めることが重要です。

人とペットの災害対策ガイドライン

用語解説 2

● 同行避難

災害発生時に、飼い主が飼育しているペットを同行し、指定緊急避難場所など安全な場所まで一緒に避難すること。

● 同伴避難

被災者が避難所でペットを飼養管理すること。飼い主とペットが同室・同居にならないこともある。

● 所有者明示

ペットに迷子札やマイクロチップなどを装着することにより、飼い主の氏名や連絡先を明確にしておくこと。